

# 「2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて 海外からの補助犬受け入れシンポジウム」

共催：公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団

日時：2019年10月6日(日) 13:30～16:30



海外からの来訪者が増加している中、2020年には補助犬と共に多くの渡航者が増加すると予想されます。日本における補助犬法とは異なるサービスドッグ・アシスタンスドッグに対する対応として、厚生労働省では2018年11月に「海外から渡航してくる補助犬使用者への対応ガイドライン」が作成されました。公共交通機関、宿泊施設、商業施設等々様々な分野の皆さまを対象として、上記ガイドラインの内容を踏まえつつ、海外から渡航してくる補助犬とその他のアシスタンスドッグ同伴受け入れの課題、各分野の具体的な先進事例をお話し頂き、海外からの補助犬同伴受け入れに関する理解を深めるシンポジウムを(公財)交通エコロジー・モビリティ財団と共催で開催いたします。沢山の方のご参加をお待ちしております。

○日 時：2019年10月6日(日) 13:30～16:30

○場 所：京王プラザホテル 4階 錦

○主 催：日本身体障害者補助犬学会

○共 催：公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

○対 象：自治体、交通事業者、宿泊施設事業者、商業施設事業者、等

○参加費用：2,000円(資料代含む)

※学術集会参加者につきましては、シンポジウム参加費は学術集会参加費用に含まれます。

○プログラム(予定)

- ・2020東京オリパラに向けた現状(移動と交通に関して)
- ・海外から渡航してくる補助犬使用者への対応ガイドライン(厚生労働省 秋山仁氏)
- ・上記ガイドラインに対応した一時滞在事例について(日本盲導犬協会 金井政紀氏)
- ・海外における補助犬事情について(帝京科学大学 山本真理子氏)
- ・海外から渡航してくる補助犬についての課題(日本身体障害者補助犬学会 高柳友子氏)
- ・海外からの補助犬受け入れ事例(交通事業者/商業施設/宿泊施設/観光施設等)



読売新聞社